

令和 2 年 6 月 19 日現在

機関番号：82628

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2019

課題番号：16K04252

研究課題名（和文）東アジアにおける高齢者介護制度の構築段階と日本の経験の伝播に関する研究

研究課題名（英文）Study on the construction stages and Japan policy experience propagation in East Asia Long-term care system

研究代表者

小島 克久 (Kojima, Katsuhisa)

国立社会保障・人口問題研究所・情報調査分析部・部長

研究者番号：80415819

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：東アジア（日本、韓国、台湾、中国）の介護制度が多様であることとその背景を明らかにした。韓国や台湾では、わが国の制度を参考にしつつも、対象者の範囲や給付内容にわが国との違いがある。また、同じ名称の介護サービスでもその認識にもわが国との違いがある。中国の15カ所の地域で実施の介護保険モデル事業は、その内容に地域差が大きく、わが国との共通点、相違点のまとめが困難な状況である。こうした多様性の背景として、制度面で明確なもの、介護サービスへの認識の差で一目では分かりにくいもの、があることを明らかにした。そのため、わが国の介護制度の伝播には現地でのカスタマイズが不可欠であることも明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

東アジアの介護制度の多様性とその背景を明らかにすることで、東アジアの福祉レジームに内包される多様性を学術的に明らかにした。また、わが国が介護サービスを東アジアなどの諸外国に展開させる際には、政策や介護サービスの仕組みだけでなく、現地でのこれらへの受け止め方の違いにも留意する必要がある。つまり、わが国の経験を現地向けにカスタマイズをすることが不可欠であるという社会的な意義もより明確にした。

研究成果の概要（英文）：The study has found out the diversity and its backgrounds on long-term care system in East Asia (Japan, South Korea, Taiwan and China). South Korea and Taiwan have been constructing its own LTC system referring Japan experience. But, each LTC system has some differences from that of Japan including scope of targeted persons and benefits. In addition to it, even in same name of LTC service, the recognition of it differs from Japan. China has 15 pilot projects of LTC insurance, but there are diversity among them. So, it is difficult to find out summarized common features and differences with Japan. Our findings of backgrounds of such diversity exists in (1) LTC system that are clear in law and policy documents, (2) recognition of LTC service that are difficult to understand from written documents. Our finding includes the fact that local customization is indispensable for the propagation of Japan LTC system experience.

研究分野：高齢社会論、東アジアの介護制度比較

キーワード：高齢者介護 介護制度 東アジア 国際比較 高齢化対策 中国 韓国 台湾

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

高齢化は日本を含む先進諸国だけでなく、東アジアでも進んでいる。本研究開始時点での韓国と台湾の高齢化率 10%程度であるが、その後は急速に上昇し、2060 年頃には日本と同程度の水準(40%近く)になる見通しである。また、中国では高齢者人口がすでに 1 億人を超えている。さらに、75 歳以上の後期高齢者の増加が東アジアで見通されている。後期高齢者は要介護率、各種の疾病、特に認知症の発症率が高く、これらの発生状況が複雑に絡み合うため、今後の東アジアの介護制度は、後期高齢者の増加に対応するものでなければならない。日本、韓国、台湾ではすでに少子化の進行、家族形態の変化などを背景に、「介護」を社会全体で支える方向にある。日本では 2000 年から介護保険を実施しているが、第 1 次ベビーブーム世代が後期高齢者になる 2025 年を見据えた「地域包括ケアシステム」の構築などが進められている。韓国でも 2008 年に介護保険を実施し、介護サービスを急速に普及させた。しかし、介護事業者の質の確保、医療との連携、認知症の対応という課題がある。台湾では、国民党政権下で介護保険が検討された一方、民進党政権下では税財源での介護サービス提供体制の構築(長照 2.0)が進められた。しかし、外国人介護労働者のあり方、認知症への理解とケアの整備などが課題となっている。中国では介護制度の構築について、「社区」(地域)を重視した介護政策、一部地域での介護保険試行の一方で、中国全体の介護制度のあり方についての議論が続いている。その間にも、「ひとりっ子世代」の親の世代が高齢者(後期高齢者)となり、従来の子どもによる老親扶養、介護というモデルが維持できるのかが不透明な状況にある。

このように、東アジアの介護制度の構築段階は、介護保険実施・介護サービス普及の日本(先行グループ)、後続として介護制度を構築している韓国と台湾(後続グループ)、介護制度について議論が続いている中国(後発グループ)の 3 つのグループに分けることができる。各グループの共通点として、1)社会保険方式での制度構築(検討) 2)居宅や地域(社区)でのケアの重視がある。後者は欧米でも見られる傾向であるが、前者は欧米でもドイツなどわずかな国で見られず、東アジアの介護制度の特徴となりつつある。

アジアで福祉国家のレジームを考えると、エスピン・アンデルセンの福祉国家の 3 類型には当てはまらない「開発福祉国家」という第 4 の類型とする考え方が一方、グッドマンらのように東アジアの多様性に着目する考え方もある。実際の東アジアの介護制度には多様性を見て取ることが出来る。こうした多様性の要因のひとつとして、「日本の経験がどのように伝播され、取り入れの有無には何が影響を与え、その結果現れた課題は何か」を分析する必要がある。しかし、このような分析は不十分であり、研究を進める必要がある。

2. 研究の目的

本研究の目的は、後期高齢者の大幅な増加を伴う高齢化が見通される東アジア(日本、韓国、台湾)の介護制度構築に日本の介護制度の伝播が与えた影響と課題を分析し、東アジアの介護レジームを研究することである。東アジアの高齢者介護制度の研究は進みつつあるが、本研究では単に国や地域の制度比較に終わるのではなく、『東アジアの中で、日本の介護制度がどのように伝播し、その結果現れた課題は何か』について検討し、東アジアの介護レジームを明らかにすることが目標である。具体的には、以下の 3 つの論点に着目する。

(1) 後期高齢者の増加に着目した東アジアの高齢化の分析

(2) 東アジアの高齢者介護制度の構築の現状とプロセス

財政方式(社会保険方式を採用、検討、試行した背景) 医療などの他の制度との関係(特に病院の役割) 介護サービス提供体制と(外国企業を含む)民間企業の役割、認知症の理解と対応、家族介護者支援策の重視の程度

(3) わが国の経験が伝播した側面とその課題

わが国の介護制度構築は東アジアでも注目されている。しかし、すべての国や地域でわが国の経験がそのまま適用できるとは限らない。(1)や(2)の結果をもとにわが国が東アジアの先行グループとして、その介護制度構築の経験のうち、上述の後続および後発グループに適用される領域とは何か、その場合の課題は何かを明らかにする。

3. 研究の方法

本研究の目的を達成するための研究方法として、平成 28 年度には、分析対象の国および地域の高齢化、特に後期高齢者に着目した社会経済状態の分析、介護制度の現状と課題、構築の議論に関する資料および情報のサーベイを行う。平行して、日本の介護保険制度の構築プロセスについて、諸外国が注目する論点を洗い出す形で検討する。平成 29 年度以降には、高齢者介護制度の構築段階の詳細な整理と日本の経験が伝播した部分とその結果現れた課題の検討を行う。特に研究事業期間後半の平成 30 年度及び令和元年度には、東アジアの介護制度が欧米諸国と比較して際だっている特徴をまとめる一方で、介護制度の構築段階が異なることに由来する多様性を明らかにし、今後の研究の方向性についてまとめる。

なお、本研究は公表されている政策資料、統計などを活用した社会科学の研究であり、個人情報収集などを伴う調査事業は行わなかった。よって倫理上の問題は発生しなかった。

4. 研究成果

東アジアの介護制度の特徴を先行グループ(日本)、後続グループ(韓国と台湾)と後発グル

ープ(中国)別に把握し、その位置を概念的にまとめると本文の図の通りである。そして、制度内容について、先行グループであるわが国との違いを明らかにしたものが本文の表である。

その本文の表から後続グループの韓国と台湾を見ると、社会保険方式の採用(韓国)、居宅、施設ケアなどの幅広い給付などはわが国と共通する。一方で、制度運営者(全国的な医療保険制度を活用の韓国)、対象者の範囲(若年障害者も対象者である台湾)、給付内容(家族介護者支援を給付に盛り込んだ台湾)、医療制度との連携が十分でないこと(韓国、台湾)、外国人介護労働者(外籍看護工)の雇用が多いこと(台湾)などがわが国との相違点である。また、同じ名称の介護サービスでも、その認識にわが国との違いがあり、デイサービスでその傾向が顕著である。

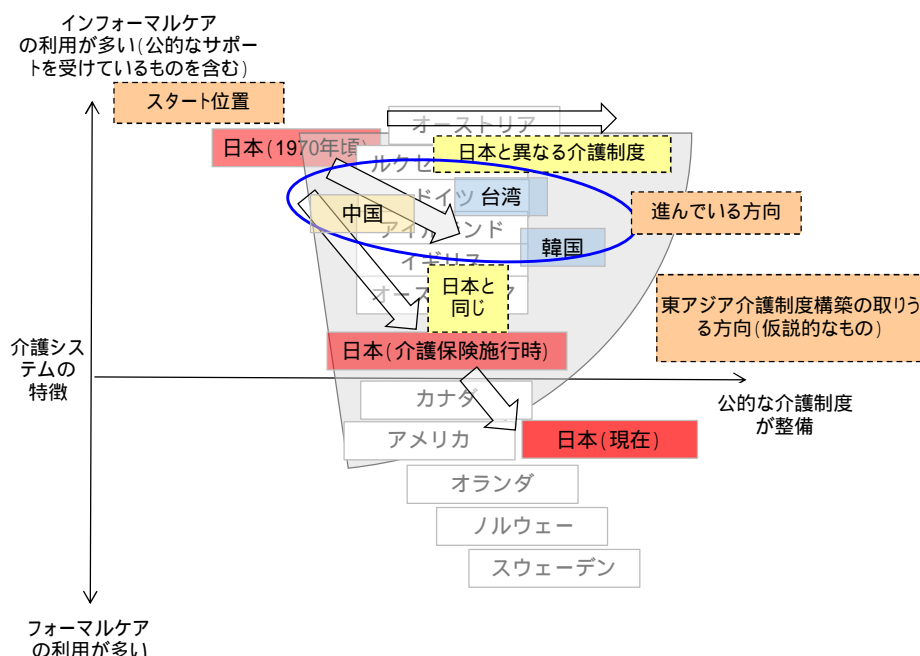
次に表から後発グループの中国では、上海、青島などの15カ所の地域で介護保険モデル事業を実施している。地方政府運営の都市従業員医療保険の仕組みや基金の活用という大まかな共通点はある。しかし細かい制度内容に地域差が大きい。中国はわが国の介護制度への関心が高いにもかかわらず、わが国との共通点、相違点のまとめが困難な状況である。今後の中国の介護制度の発展を注視する必要がある。また、介護サービス提供における市場メカニズム重視の傾向が顕著である。

このような多様性は、制度面で明確なもの、介護サービスへの認識の差で一目では分りにくいもの、を背景とすることを明らかにした。前者は主に行政や立法の政策関係者、研究者などがわが国の制度をどのように評価するかが背景にある。たとえば、韓国はわが国の介護保険の保険者が地方自治体であることを参考にした。しかし、医療保険の保険者である国民健康保険公団の人材の専門性の活用を重視したため、介護保険の保険者に違いが生じている。台湾の介護制度では、高齢者だけでなく若年の障害者も給付対象である。台湾の政策当局者も、わが国の介護保険を研究したが、台湾ではわが国ほど障害者福祉が充実していないので、ひとつの介護制度で高齢者と障害者の両方に対応しようという判断になった。さらに中国では、医療保険が省などの地域単位で運営されていること、介護保険モデル事業では住民に追加的な負担は当面課さないことにした判断などが背景にある。

後者は主に介護事業者によるわが国の介護サービスへの認識が背景にある。その例として、韓国のデイサービスがある。韓国では手厚い介護サービスは自宅でのニーズが強い。そのためデイサービスは主に軽度の要介護高齢者向けのサービスとして認識され機能している。台湾ではグループホームが普及しつつあるが、介護事業者の中には日本式のグループホームにかかる費用の高さへの懸念がある。その一方で、日本式のグループホームの概念、サービス提供方法の普及を目指す動きもある。また、わが国の訪問入浴の方法、機器の利用法の普及も台湾の介護事業者により進められている。これについては、わが国の介護機器事業者(機器、利用法のテキストの提供や講師の派遣)、わが国の現地の助成団体(講習会費用の支援)による支援の役割が大きい。

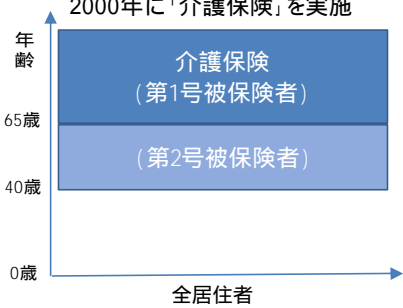
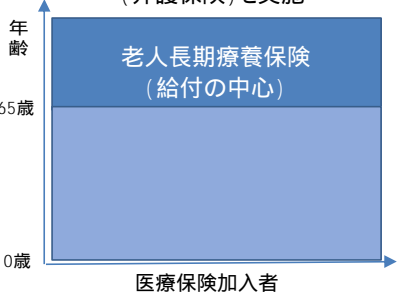
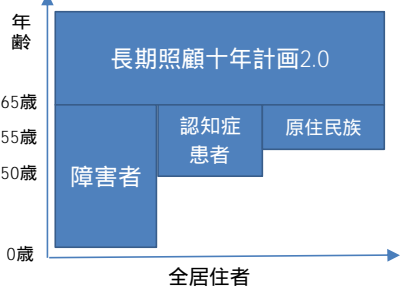
こうした背景が東アジアの介護制度に多様性をもたらしており、わが国の介護制度の伝播には現地でのカスタマイズが不可欠であることを明らかにした。

図 東アジアの介護制度発達のイメージ(概念図)



資料: OECD(2005), "Long-Term Care for Older People"を元に加筆等により作成。
注: インフォーマルケアとフォーマルケア、公的介護制度の整備について、各国の大まかな関係を図示したもの。

表 東アジアの介護制度のイメージ

国・地域	制度イメージ	備考(特徴)
先行グループ	<p>2000年に「介護保険」を実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・独立した社会保険。保険者は市町村 ・保険料、公費を財源(自己負担あり) ・要介護認定、ケアプラン作成後にサービス利用(居宅、施設、介護予防、福祉用具など) ・介護サービスは公営、民営の事業者 ・「地域包括ケアシステム」構築を進める(医療、介護、その他福祉などの連携)
後続グループ	<p>2008年に「老人長期療養保険」(介護保険)を実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険(国民健康保険)を活用した社会保険。保険者は国民健康保険公団。全年齢の者が対象(給付は高齢者中心) ・保険料、公費を財源(自己負担あり) ・要介護認定、ケアプラン(保険者)、介護サービス利用計画(介護事業者)作成後にサービス利用(居宅、施設、福祉用具、家族介護者手当(例外的な給付)など) ・介護サービスは公営、民営の事業者 ・地域密着型の介護サービス提供体制を検討(モデル事業の実施) ・医療との連携は十分ではない
	<p>税方式の制度。「長期照顧十年計画2.0」(2017年～)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・税方式の制度(自己負担あり)。若年障害者なども対象 ・要介護認定、ケアプラン提示(地方自治体)、介護サービスプラン(介護事業者)作成後にサービス利用(居宅、施設、福祉用具、家族介護者支援など) ・介護サービスは公営、民営の事業者(非営利がほとんど) ・地域密着型の介護サービス提供体制構築(介護事業者の連携、介護サービスの充実) ・医療との連携はまだ十分ではない ・外国人介護労働者(外籍看護工)の雇用が多い
後発グループ	<p>15都市で介護保険モデル事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市従業員基本医療保険の仕組み、基金を活用 ・制度および給付の対象者が著しく限定される場合がある ・要介護認定の基準は都市により異なる ・給付内容、方法も都市により異なる ・介護サービスは公営、民営の事業者 ・市場メカニズムが重視 ・2020年代に全国的な制度構築を目指す?

出所: 制度は増田・金(2014)『アジアの社会保障』、小島(2019)『アジアの公的医療および介護制度 - 台湾 - 』『健保連海外医療保障』健康保険組合連合会, No.124, pp.15-24、沈・澤田(2016)『ポスト改革期の中国社会保障はどうなるのか 選別主義から普遍主義への転換の中で』、厚生労働省『2018年 海外情勢報告』などをもとに研究代表者作成。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計26件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 小島克久	4. 巻 第3047号
2. 論文標題 台湾における地域別介護サービス利用状況の検証	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 週刊社会保障	6. 最初と最後の頁 40-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 小島克久	4. 巻 第75巻4号
2. 論文標題 外国人人口を含む人口統計で検証する台湾のUHC	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人口問題研究	6. 最初と最後の頁 305-323
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 小島克久	4. 巻 第124号
2. 論文標題 アジアの公的医療および介護制度 - 台湾 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 健保連海外医療保障	6. 最初と最後の頁 15-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 于 洋	4. 巻 第13巻第2号
2. 論文標題 わが国における外国人介護人材の受け入れ政策の展開と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 城西現代政策研究	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金 貞任	4. 巻 第41巻3号
2. 論文標題 家族介護者による在宅要介護高齢者の看取りケアの場所選択意識に関する要因：日韓比較研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 老年社会科学	6. 最初と最後の頁 278-291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jung-Nim Kim	4. 巻 Vol.6 Issue-2
2. 論文標題 Gender Differences on Perceived Health Status of Family Caregivers: Associations with Socioeconomic Status in East Asia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Odisha Journal of Social Science	6. 最初と最後の頁 12-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 6巻
2. 論文標題 日本性別政策演進分析: 従男性養家邁向工作与生活平衡	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 婦女研究論叢	6. 最初と最後の頁 58-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 1085
2. 論文標題 台湾における地域密着の高齢者介護ケア提供体制構築の動向	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際労働経済研究Int'lecowk	6. 最初と最後の頁 7-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 3巻第1号
2. 論文標題 日本経済発展と社会保障：以長期護理制度為中心	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会保障評論	6. 最初と最後の頁 76-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 3010
2. 論文標題 中国社会保障の頂層設計改革 福祉の国家化傾向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 週刊社会保障	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 2018年第6期
2. 論文標題 社会政策的な生活視角	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国社会科学文摘	6. 最初と最後の頁 62-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 59号
2. 論文標題 中国における社会事業理論の受容についての再考 1920年代～1940年代を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会福祉	6. 最初と最後の頁 62-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 6
2. 論文標題 台湾の社会保障（第1回）台湾の人口・経済の状況と社会保障制度の概要	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 412-415
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 6
2. 論文標題 台湾の社会保障（第2回）台湾「全民健康保険」について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 416-419
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 7
2. 論文標題 台湾の社会保障（第3回）台湾の高齢者介護制度について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 595-598
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 9
2. 論文標題 日本高齢化的地区差異和社区綜合護理体系	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 社会政策研究	6. 最初と最後の頁 3-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 73-4
2. 論文標題 第2次世界大戦以前の台湾の人口変動と日本との比較検討	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 人口問題研究	6. 最初と最後の頁 254-269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 2948
2. 論文標題 中国介護保険制度の構想を読み取る	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 週刊社保	6. 最初と最後の頁 50-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 第15期
2. 論文標題 社会政策的な生活視角：日本経験	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中国社会工作研究	6. 最初と最後の頁 174-189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 28
2. 論文標題 経済転型期中国的社会保障及其特徴	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金貞任	4. 巻 4-1
2. 論文標題 Factors predictive of preferred place of nursing home for end-of-death in community-dwelling family caregivers of frail elderly in East Asia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Odisha Journal of Social science	6. 最初と最後の頁 32-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 110
2. 論文標題 台湾における医療保障の動向	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 健保連海外医療保障	6. 最初と最後の頁 24-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小島克久	4. 巻 3
2. 論文標題 韓国の社会保障 (第3回) 韓国「老人長期療養保険」(介護保険) について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 487-490
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 2872
2. 論文標題 中国介護福祉政策の動向と構造変化	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 週刊社会保障	6. 最初と最後の頁 50-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沈潔	4. 巻 27
2. 論文標題 中国における介護保険制度の創設を巡って	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本女子大学人間社会学部紀要	6. 最初と最後の頁 14-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 于 洋	4. 巻 273
2. 論文標題 中国版介護保険制度の試行と新型都市化との関係	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日中経協ジャーナル	6. 最初と最後の頁 26-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計34件 (うち招待講演 15件 / うち国際学会 22件)

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 在宅要介護高齢者に対する家族介護の要因に関する研究 - 「国民生活基礎調査」(2016年)を用いた分析 -
3. 学会等名 日本老年社会学会第61回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Katsuhisa Kojima
2. 発表標題 MODEL ANALYSIS OF LONG-TERM CARE COST EXPENDITURE BY THE ELDERLY PRIVATE HOUSEHOLD IN JAPAN -GOVERNMENTAL SURVEY MICRO DATA ANALYSIS-
3. 学会等名 国際老年学会アジアオセアニア地区第11回大会 (IAGG Asia/Pacific 2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小島克久（共：李忻）
2. 発表標題 日本における高齢者医療保障制度の財政構造及びその課題
3. 学会等名 第15回社会保障国際論壇（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 日本の介護制度における『地域包括ケアシステム』
3. 学会等名 第11回東アジア社会福祉モデルワークショップ（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Katsuhisa Kojima
2. 発表標題 Japan Long-term Care System
3. 学会等名 Graduate Institute of National Development Forum on National Taiwan University（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 日本の『地域包括ケアシステム』について
3. 学会等名 第3次日韓社会政策定例フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 日本の多層的な年金制度 - 制度と統計から見える役割 -
3. 学会等名 中国労働和社会保障科学研究院研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 于 洋
2. 発表標題 日本介護行?的市場規模与介護人材の培養現状及展望（日本における介護産業の市場規模と日中間の介護人材の交流について）
3. 学会等名 国際シンポジウム『変化する労働力の国際移動』（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 于 洋
2. 発表標題 中国の介護保険モデル事業、日本の介護産業の規模及び介護人材の育成
3. 学会等名 公開シンポジウム『グローバル化する高齢者介護労働と福祉国家におけるジェンダー課題』
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 沈潔
2. 発表標題 日本性別平等政策分析
3. 学会等名 北京論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 Social Security in Japan - Developments and Challenges -
3. 学会等名 第14回社会保障国際論壇（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 Basic Policies and Operations of Japanese Long Term Care Insurance System
3. 学会等名 中国人民大学ワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 Japan Long-term Care Insurance and its Local Governance
3. 学会等名 南京論壇2018（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 Japan Income Inequality and Poverty - the Trends from National Statistics -
3. 学会等名 第2回包摂福祉フォーラム：韓国・中国・日本における所得格差と貧困（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 沈潔
2. 発表標題 美好生活與参与型社会政策的設計與評價
3. 学会等名 社会政策國際論壇（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 沈潔
2. 発表標題 日本護理保險の課題と改革
3. 学会等名 健康保障論壇（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 沈潔
2. 発表標題 中国社会政策萌芽期的日本因素
3. 学会等名 西方經驗與近代中日交流的思想連鎖（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 沈潔
2. 発表標題 日本介護保險財政の理論的分析
3. 学会等名 中国社会保障学会2019年大会（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 日本の社会保障支出と経済成長 - 時系列データ分析と国際比較 -
3. 学会等名 第13回国際社会保障論壇（中国・南京大学）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 Japan Long-term Care Insurance - Its Attainments and Challenges -
3. 学会等名 Conference on Health Care and Medical Security in East Asia（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 Population Aging and its Policy in Japan
3. 学会等名 The 14thWorld Congress on Long Term care in Chinese Communities（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 沈潔
2. 発表標題 中國社會政策萌芽期的日本因素
3. 学会等名 湾中央研究院近代史研究所主催する「西方經驗與近代中日交流的思想連鎖」国際会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 沈潔
2. 発表標題 介護保険制度と介護人材育成の相関関係
3. 学会等名 介護保障国際シンポジウム（中国・華東師範大学）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 沈潔
2. 発表標題 日本介護保険制度の課題と改革
3. 学会等名 中国社会保障学会 中国と台湾フォーラム（中国・廈門大学）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金貞任
2. 発表標題 東アジアの独居要介護高齢者が選択する看取りケアの場所の規定因
3. 学会等名 日本老年社会学会大会第59回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金貞任
2. 発表標題 Effects of Home Care Services on Subjective Health Status and Care Burden of Family Caregivers in Frail Elderly Care in East Asia
3. 学会等名 IAGG the World Congress of Gerontology and Geriatrics（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 于洋
2. 発表標題 介護保険制度における受益者の設定と日本の介護保険制度からの啓発
3. 学会等名 中国吉林省社会学会2017年度学会年会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 于洋
2. 発表標題 中国の公的年金制度改革の最前線 基礎年金と個人口座に関する論争
3. 学会等名 アジア政経学会2017年秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 于洋
2. 発表標題 急成長している中国の介護市場と女性介護労働者の役割
3. 学会等名 シンポジウム:福祉国家における介護労働と女性の役割 - 国際比較を交えて日本の問題を考える - (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小島克久 金貞任
2. 発表標題 MODEL ANALYSIS OF FAMILY CARE PROVISION FACTORS TO THE FRAIL ELDERLY - JAPAN, KOREA, CHINA, TAIWAN COMPARATIVE ANALYSIS -
3. 学会等名 The Joint World Conference on Social Work, Education and Social Development 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 台湾における外国人介護労働者の現状 - 地域別に見た分析 -
3. 学会等名 第12回国際社会保障論壇（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小島克久
2. 発表標題 Long-term Care System in Japan - Implications to Taiwan Policy
3. 学会等名 The Development and Challenges of Taiwan's Long-term Care Industry Conference（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 金貞任
2. 発表標題 東アジアにおける単身要介護高齢者の看取りケアの居場所に関する研究 - 日韓中と台湾のデータを用いたマルチレベル分析 -
3. 学会等名 第12回国際社会保障論壇
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 于 洋
2. 発表標題 長期護理保險究竟應該服務于誰 - 日本介護保險制度的經驗与教訓 -
3. 学会等名 International Conference “ Long-term Care: Financing, Service Provision and Policy Options ”（招待講演）
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 上村泰裕編著（小島克久、沈潔分担執筆）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 572
3. 書名 新世界の社会福祉 第7巻 東アジア	

1. 著者名 沈潔・一番ヶ瀬康子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 華中師範大学出版社	5. 総ページ数 171
3. 書名 沈潔導読 社会福祉基礎理論	

1. 著者名 金 成垣、大泉 啓一郎、松江 暁子編著 小島克久	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 240
3. 書名 アジアにおける高齢者の生活保障（「台湾 介護サービスにおける外国人介護労働者」を分担執筆）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>第12回社会保障国際フォーラム（大分市） http://www.ipss.go.jp/international/j/collabo/1609Conference0ita.html 中国社会科学院人口与労働経済研究所との合同ワークショップ http://www.ipss.go.jp/international/j/visitors/161024China.html 「台湾の介護サービス産業の発展とその課題に関するフォーラム」への参加（台湾・台北） http://www.ipss.go.jp/international/j/collabo/160919Taiwan.html 中国民政部政策研究中心御一行の来訪 http://www.ipss.go.jp/international/j/visitors/160704China.html</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	金 貞任 (KIM Jung-Nim) (00364696)	東京福祉大学・社会福祉学部・教授 (32304)	
研究分担者	沈 潔 (SHEN Jie) (20305808)	日本女子大学・人間社会学部・教授 (32670)	
研究分担者	于 洋 (YU Yang) (60386521)	城西大学・現代政策学部・教授 (32403)	
研究協力者	李 光廷 (LEE Kuang-Ting)		
研究協力者	陳 雅美 (CHEN Ya-Mei)		
研究協力者	施 世駿 (SHI Shi-Jiunn)		
研究協力者	金 道勲 (KIM Do-Hoon)		
研究協力者	任 貞美 (LIM Jeong-Mi)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	何 文炯 (HE Wen-Jiong)		
研究協力者	劉 曉梅 (LIU Xiao-Mei)		
研究協力者	王 海燕 (WANG Hai-Yan)		
研究協力者	張 繼元 (ZHANG Ji-Yuan)		
研究協力者	李 寒櫻 (LEE Kannou)		
研究協力者	万 琳静 (WAN Lin-Jing)		